

# オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 福岡県

【学校名】 水巻町立 水巻南中学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

## 【実践研究タイトル】

スポーツを楽しむ心を高めるための「バブルサッカー」体験学習

## 【実施学年、部、講座等】

第2学年（男子55名・女子42名）

## 【目的・ねらい】

オリンピック・パラリンピックに対する関心を高めるために調べ学習を行い、日本で開催されるオリンピック・パラリンピックについて関心を持つ。また、スポーツが苦手な生徒でも取り組みやすいスポーツを体験することで、スポーツに対してプラスイメージを持たせる。

## 【種類】(当てはまるものに○)

- 各教科(保健体育科) ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動  
・教科以外での取組 ( )

## 【実践内容等】

### (実施内容)

#### 実践① バブルサッカー

##### ※バブルサッカーについて

- ・日本では4人対4人もしくは5人対5人で行われることが多い。
- ・試合時間は7分や10分ということが多い。
- ・試合は各プレイヤーが直径1.5メートル、重さ13キログラムのBUMPERというバブルボールに身を包み試合を行う。
- ・バブルボールを身に付けた者をバブリストと呼ぶ。
- ・試合開始はセンターサークルに置かれたボールに両サイドから走ってぶつかり合うところからスタートする。
- ・これをバブルアタックと呼んでいる。
- ・そのあとはフットサルとほぼ同じルールでゲームが行われる。

1月26日(火) 4～6校時 2年生(男女) 実施

めあて「マナーやルールを守り、思い切り体を動かしてバブルサッカーを楽しもう」

#### ○バブルサッカーを行うにあたっての注意事項

- ・めがねはずして行う。 ・サポーターをつける
- ・後ろから強くぶつからない ・気分が悪くなったらすぐにやめる

バンパーボールをはじめて装着する生徒がほとんどなので、注意を行った。

#### ○バンパーボールを装着し、基本的な動きを練習

- ・2人組になり、交代で装着する。膝には必ずサポーターをつける。転がる手伝いをしたり、起き

上がれなくなったときには起こしたり、お互いに助け合うようにした。初めは転がったり、ぶつかったりすることに慣れていなかったが、次第に自分から転がったり、ぶつかっていったりできるようになった。

- ・慣れると前転をしていたり、逆立ち状態になっている生徒もいた。



- バブルサッカー試合 男女別チームを編成（4、5人の4チーム）1チーム2試合  
バンパーボールの重さが12kg程度あるので、女子は装着して動くことが大変そうだった。男子はフットサルのようにボールをコントロールし、得点を競い合うことができていた。男女とも、ぶつかることに抵抗はなく、むしろ、ぶつかって転がること、友達のその様子を見ながら応援したり、ボール拾いをしたりしながら楽しんでいた。



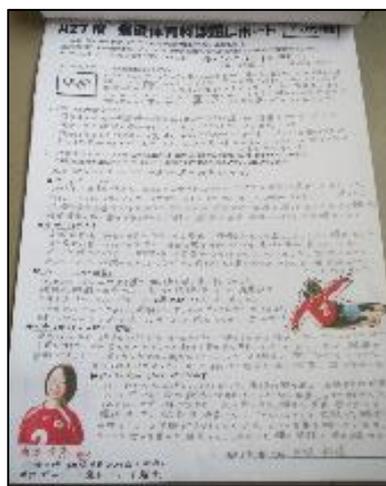
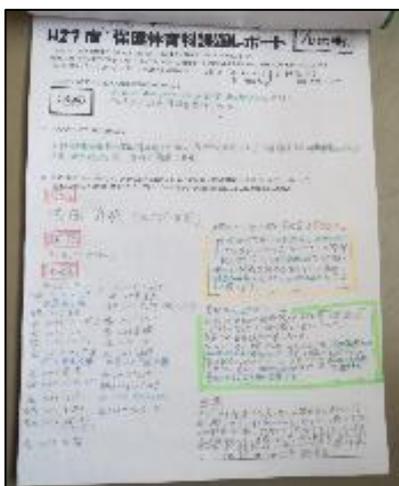
- まとめ
  - ・授業を終えて生徒からの感想を聞く。
  - ・めあてについての自分の達成度を挙手させる。
  - ・日常生活の中でもマナーやルールを守ることで楽しい学校生活を送れることを伝える。

## 実践② 「オリンピック・パラリンピックについて」レポート作成

冬休みの保健体育科の宿題として、「オリンピック・パラリンピック」について調べ、レポートにまとめさせた。インターネットや書物などで興味のある選手のことを調べた。選手の写真を貼ったり、選手が苦勞したことなどを上手にまとめていたりしていた。



学年の掲示板上に写真のような「オリンピック・パラリンピックコーナー」をつくり、関連するポスターや生徒が書いたレポートを掲示し、生徒が自由に回覧できるようにした。



### (実践上の工夫点、留意点等)

- ・男女や経験がある・なしに関係なく、誰でも取り組みやすく、かつ、生徒の興味関心の高い運動種目であるバブルサッカーを選び実施した。
- ・レポート作成は、オリンピック・パラリンピックのメダリストについて調べることで、まず個々が関心をもつことを目的に実施した。

### (成果)

#### 実践① 「バブルサッカー」についての生徒の感想より

- ・楽しい雰囲気、自分の体を新しい感覚で動かすのが楽しかった。(男子)
- ・したことのない競技だったので、うまくできなかったけど、とても楽しかった。(女子)
- ・友達と笑ったりして楽しめたことがよかった。(女子)
- ・思い切り転べるところがよかった。(男子)
- ・ルールが簡単で、誰でも楽しむことができるのでよかった。(男子)
- ・バブルサッカーは皆が平等で楽しめてよいスポーツだと思った。(男子)
- ・初めてする種目だったので新鮮ですごく楽しかった。前転したときは自分じゃないみたいにふわふわした。(女子)
- ・冬なのに汗をかくほど動いてとても楽しかった。(男子)

○すべての生徒が今回の授業について「楽しかった」と答えている。経験の有無に関わらず、ルール

も簡単で、けがの心配が少なく、思い切り動くことができ、なおかつ、普段はできない体の使い方をし、心地よさを感じる体験ができたことが「楽しさ」につながったと思われる。

○バンパーボールを装着して動くと、体の自由がきかず、なかなか思った通りに動けないので、その体験から「体の不自由な人のことを考えた」「体が不自由になるのはこんなに大変だということがわかり、パラリンピックはすごいと思った」という生徒の感想もあった。このような体験を生かして、パラリンピックについても理解を深めていくきっかけになるので、今回の授業は大変意義深いものになったと思う。

### 実践②「オリンピック・パラリンピックレポートを書いて」生徒の感想より

- ・日本でオリンピック・パラリンピックが開催されるので生で見たいと思った。(女子)
  - ・オリンピックは世界中の人と言葉が通じなくても楽しく競い合えるのでいい。(女子)
  - ・レポートを書いて、オリンピックについての知識が増えた。(女子)
  - ・オリンピック選手はすごい努力をしている、メンタルも強い人が多いと思った。自分も強くなりたいと思った。(女子)
  - ・あまりオリンピックを見ていなかったけど、レポートを書いて興味がでたので、しっかり見てみたいと思った。(男子)
  - ・レポートを書いて、オリンピックに対する各国の取り組みが大きくなっていると思った。(男子)
  - ・世界にはいろいろなスポーツがあることがわかった。(男子)
  - ・私はスポーツを今はしていないけれど、メダリストのことを調べて興味がわいた。私も体を動かすことを何か始めたいと思った。(女子)
- オリンピック・パラリンピックについての調べ学習をすることで、生徒の感想にもあるように、オリンピック・パラリンピックへの興味関心をもったり、メダリストの努力や苦勞、挫折などメダル獲得までの様々な背景を知ったり、その選手のように精神的に強くなりたいとか、努力をしていきたいなど、自分自身に置き換えて考えている生徒も多くいた。
- 何かスポーツを始めてみたいという気持ちを持った生徒もいた。このように調べ学習はスポーツの意義や価値について関心を高め、主体的に参加する生徒を育てるための手立てとして有効ではないかと思われる。

### 【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- 今回のように、道具のレンタル手続きにともなう値段の交渉や日程調整を業者と行う必要があり、時間的に厳しかった。せつかくオリンピック・パラリンピック教育の事業をするならば、普段授業ではできないスポーツやオリンピックの方の講演会など行うことも効果があると思うが、学校業務もあり、オリパラ授業のみに時間を割くことができないため効率的なカリキュラムを構築していく必要がある。
- 来年度、教育課程の中にオリンピック・パラリンピック教育をどのように意図的・計画的に位置づけていくか課題である。